

報道機関各位

児童生徒1人1台パソコンの整備について

箕輪町では国のGIGAスクール構想を上伊那郡内最速でスタートします。
令和2年10月15日より、町内全ての小中学校で全児童生徒への1人1台のパソコンを整備し、箕輪町が目指す「ICT（1人1台パソコン）をツールとして学び続ける子どもの育成」への挑戦を始めます。

日 時

令和2年10月15日（木）

場 所

町内小中学校

内 容

- ・町内小中学校の児童生徒に、1人1台パソコンを整備しました。

(内訳)

Chrome book 2040 台

iPad 235 台

添付資料 有 無

育てる男が、家族を変える。社会が動く。



箕輪町は、
イクボス・温かボス
イクメンを応援します！

学校教育課 教育総務係
(課長)三井 清一 (担当)小川 直朗
電 話：0265-70-6603 (内線) 113
F A X：0265-79-6368
E-mail：kyouiku@town.minowa.lg.jp

1人1台パソコンで

箕輪町の学びが進みます！

未来の予測が困難な社会を見据えて



これまでの学習に
プラス！



離れていても
つながる

〇〇君、△△さんの
意見についてどう思う？



知りたいことを
とことん学ぶ



地球はど
うしてま
るいんだ
ろう？

なんで、空
を飛べるん
だろう？

一緒に考える・つくる



僕は、こう考
えたよ！
みんな、色々
なことを考え
ているんだ
ね！

みんなの意見を見て、〇〇とい
う考え方に気づいた！

自分のペースを
考えて学ぶ

苦手なことはじっくり
と、得意なことはどん
どん進められる！



ICT（1人1台パソコン）をツールとして 学び続ける子どもの育成

箕輪町教育委員会

多様な子供たちを誰一人取り残すことなく、子供たち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現へ



情報活用能力※の育成

※デジタル機器やインターネット等を適切に使いこなす力

これからの時代をよりよく生きるための基盤

- ・他者を思いやり、行動できるリテラシー
- ・未知の状況にも立ち向かえる課題解決力
- ・世界で活躍できるコミュニケーション力



学び合い・協働学習

- ・一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有
 - ・子供同士で双方向の意見交換が可能に
- 各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れられる



個別最適化学習

- ・各人が同時に別々の内容学習
 - ・個々人の学習履歴を記録
- 一人一人の教育的ニーズや、学習状況に応じた個別学習が可能



箕輪町のICT環境の整備

- ・1人1台端末の整備・大型提示装置の設置・デジタル教科書活用
- ・ネットワーク環境整備・ICT支援員の任用・校務支援システムの導入

教育長メッセージ

新しい時代を生きる子どもたちに 箕輪町教育長 小池 眞利子

箕輪町は早くからICT教育の推進に取り組み、「わかる授業」をめざして、教師が大型提示装置や実物投影器などのツールを活用してきました。これまでの実践の蓄積に1人1台パソコンがプラスされることにより、「子どもたちが主役の授業」、「学び手のツールとしてのICT機器」が実現します。

子どもたちが迎える新しい時代は技術革新がますます進み、情報通信技術을適切に効果的に活用する力が求められます。子どもたちの未来を見据え、ICTを活用した「協働的な学び」や「個別的な学び」に力を入れていきます。

子どもたちが未来をたくましく生き抜く力を育んでいくことができますよう、保護者の皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。

「箕輪町小中学校1人1台パソコン導入」について

1 箕輪町としての取り組み

箕輪町教育大綱「ふるさとを愛し、自らの人生を切り拓いていくことができる人の育成」を掲げ、「ふるさと学習－箕輪学」「ICT教育」「英語学習・読育・食育」を3本柱として、「ICTをツールとして学び続ける子どもの育成」を目指しています。その積み重ねの上に立ち、今回の文部科学省のGIGAスクール構想を受けて、今までの箕輪町の取り組みをさらに進めていくことが、「わかる授業」への授業改善となり、子どもたちの学力向上につながるものだと考えています。(イメージ図参照)

(1) 1人1台パソコンの導入

第1期として8月末に中学校全員と小学校に部分導入。

第2期として10月末に残りの小学校に導入。

(2) 活用方法

①学校での活用場面…「主体的・対話的で深い学び」「必要感のある学び」でのICT機器の活用

- ・情報を収集、比較検討、考えを組み立て他者との意見交換、自己課題解決等の力を高める
- ・授業で活用することで、情報化社会に必要な基礎的なスキル、情報リテラシー能力の育成

②家庭での活用場面…

- ・臨時休業への対応（健康チェック・遠隔授業・課題の配信と集約等）
- ・家庭学習（宿題等）での活用（eライブラリーでの個別学習・自宅学習のデータでの提出等）
- ・日記や生活記録として活用（画像データの提出で鞆の軽量化が可能）

※家庭での活用のために、今後端末の持ち帰りのための借用書の提出や第2回接続テスト等で保護者の皆様のご協力をいただくこととなりますが、よろしくお願ひします。

(3) ネット環境の整備

①校内通信ネットワークの整備

- ・町内全校がICT機器を稼働した際に快適に使える状況整備
- ・セキュリティを強化するために複数のセキュリティ対応を実施

②家庭での使用に関わる環境整備

- ・通信環境が整っていない家庭の児童生徒が遠隔授業等に参加できるためのサテライトの設置等

2 ネットトラブルに対して

「小中学校ネットトラブル相談事業」として、専門家をアドバイザーとして小中学校の児童生徒や保護者が抱えるネット利用に係る心配事への対応ができるようにしていきます。

10月1日から稼働予定、現在準備中です。事業開始時に改めて通知を配布します。

(1) 未然防止の取り組み

①箕輪町としてのルール作り

②情報モラル教育の強化

- ・児童生徒と保護者、教職員への講演会の実施。(各校で実施予定)

(2) トラブルへの対応

緊急時の相談体制⇒専門のアドバイザーと契約して、必要な時に即対応できる体制を作ります。

①児童生徒や保護者が必要に応じてメールで相談。

②各校からの求めに応じて、トラブル対応や解決策のアドバイス。

③必要に応じて、警察や児童相談所等、関係他機関とも連携しての対応。

3 保護者の皆様へのお願い

“1人1台端末”を導入するにあたっての願いや趣旨、取り組み等についての前述の内容を受け止めていただき、保護者の皆様のご理解ご協力をお願いします。以下特にお願いしたいことです。

(1) 児童生徒が使用する“1人1台端末”は家に持ち帰って使用することがあります。使用状況に関心をもっていただき、どういう利用をしているか見守ってください。

(2) “1人1台端末”は、町から児童生徒への貸与です。大事に扱うようご指導をお願いします。

(3) ネットトラブルに巻き込まれないように、使い方を注視していただき、今後、学校や町で開催する予定の研修会に参加していただき、「最新の情報」や「情報モラルモラル」をもとにした、子どもさんへの指導をお願いします。

(4) 少しでも心配なことがありましたら、すぐに学校や箕輪町教育委員会へご相談ください。

【お問い合わせ先】

箕輪町教育委員会 学校教育課

TEL : 0265-70-6603 FAX : 0265-79-6368

メール : kyouiku@town.minowa.lg.jp